



龍門滝



かじき

広報

題字 宇都宮町長

人口・世帯の動き

(平成2年8月1日現在)

総人口23,778人(△62)	出生 18人
男 11,181人(△35)	死亡 10人
女 12,597人(△27)	転入 131人
世帯数 8,348 (△18)	転出 201人

●()内は前月との比較●

敬老

“敬老”という言葉は誰もが知っていることです。

こどもたちに“敬老”から何を連想するか聞いてみます

と「おじいちゃん」「おばあちゃん」「老人」といった固有名詞しか出てきません。これは核家族化に原因があるのではないのでしょうか。おじいちゃん、おばあちゃんは遠い所にいるもので、たまに遊びに行くものだ……。

“敬老”とは「老人を敬うこと」で、思うだけではなく実行することが大事です。

敬老の日を迎え、改めてこどもたちに、おじいちゃん、おばあちゃんの昔のことやおとうさんたちとの思い出などを話してあげてください。



加治木町デイ・サービスセンター ▷心身の機能回復を<

平成2年

今月のページ

☆椋鳩十文学記念館近況報告…2☆太鼓踊り・ふれあい体験農業…3☆敬老特集…4~5☆まちの話題…6~7☆カメラルボ…8~9☆熱戦スポーツ…10☆文芸・在宅医…11☆おしらせ…12

9

月号

●No. 431

発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62-2111 ●

椋鳩十文学記念館近況報告

感動を訪ねて「またくるよ」

記念館のラウンジに置いてある『感想ノート』に、訪れた人々のいろいろな感想、意見などが書かれています。その中から一部を紹介します。

▽加治木小 一年生

椋先生は、本を読んだり作ったりすることが大好きなんだなあ。ぼくも大きくなったら、先生みたいになりたいなあ――。

▽兵庫県明石市 M・I

夏休みに明石から鹿児島島へ来ました。『月の輪グマ』のビデオがおもしろかった。知っている本もあるが、知らない本がまだいっぱい

『感想ノート』から

いある。また、読んでみよつと。

▽福岡市 S・N

榎館館長に久しぶりに会えてとても嬉しかった。椋先生の『日本の村々』の詩に感動しました。この感動を胸に福岡に帰ります。

▽坂元中 二年

椋先生の小さなノートが、とても気に入りました。どこに行くにもあのノートを持って行き、気づいたことを書いて……。素晴らしいと思います。それを見ながら、また、自然を観察したりして、すばらしい表現を育てていったんでしょう。



ねがいごとを書いて

夏休みに三、六八八人が来館

親子連れで七夕祭りも

椋文学記念館はオープンして早くも二か月半が経過して、入館者は七、八九九人（八月三十一日現在）になりました。

ちなみに、夏休み期間中の入館者は三、六八八人を数え、いかに子供たちが本・文学・動物に興味を持っているかが伺えます。

また、八月七日の七夕祭りに、親子連れ百人余りが参加。四本の竹竿にそれぞれ願い事を書いた短冊をつるし、記念館の前に立てて楽しいひとときを過ごしました。これからも、楽しい行事を計画しますので多数御参加ください。

親子20分間読書運動

椋鳩十文学記念館では加治木町を、椋鳩十先生が提唱された『親子二十分間読書運動』の源流にしようと、町内の各小学校の校区で「親子二十分間読書運動連絡会」（仮称）を設置すべくたたいま準備中です。

これは、家庭で「お父さんお母さんと一緒に本を読もう」と呼びかけるもので、姿勢を正して規律正しく読むという堅苦しいものではなく、縁先の茶の間などで「お母さん聞いてね」と、声高々に朗読する習慣を養おうというものです。

子供は大人から学ぶ

加治木町民憲章を知っていますか

このごろ、きまりを守れない、あいさつのできない大人が増えているのでは。きまりを守ることは、世の中を生きるための、また、人間社会の大きな鉄則でもあります。

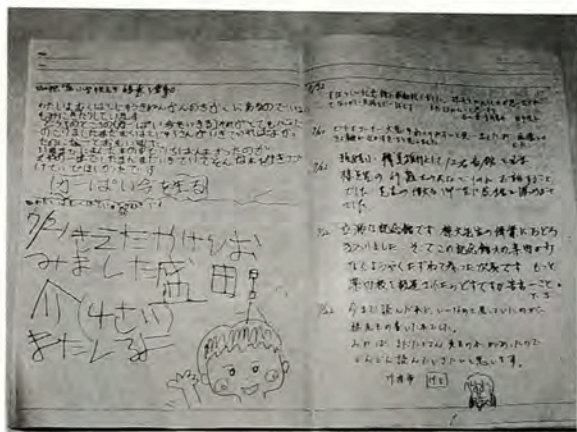
子供にきまりを守ったり、あいさつをするようにしつけたり、しかる時は、まず我が身を反省してみましよう。大人は、ともすると子供だ

けはきまりを守る良い子に育てようと思いますが、子供はそうは受けとりません。子供は大人のすることを一部始終見ているのです。大人がしていないことをなぜ子供だけするの……？と。

あいさつもお互いが感謝の気持ちを持わず、素直に「ありがとう」「おはよう」と、声を出して言うようになります。

たいものです。この問題は、行政が指導するべきものでなく親として、人間として大人が自分自身で善処しなければならぬことです。

みなさん、町民一体となって加治木町民憲章のもと、きまりを守り、あいさつのできる住みよい町づくりをめざして頑張りましょう。



かわいい絵も書いています

カネと太鼓の共演

夏をふつとばせ!

「キャン キャン ドンドン」
真夏の空に鳴り響く勇壮な「カネと太鼓」の音。毎年盆明けに行われている町の無形文化財指定の「太鼓踊り」が八月十六日開催されました。

この日は、春日神社で宇都宮町長が「郷土芸能の伝承は伝わる地区の義務でもあり、また誇りでもあります。みなさん、後継者の育成を図りぜひ後世に伝えてください」と激励。八時の花火の合図で西別府、小山田、木田、反土地地区の順番でそれぞれ奉納。また、仮屋馬場、蒲生田通りなど町内を一

☆太鼓踊り保存会から

太鼓踊りの際は、多額の御寄付をいただき誠にありがとうございます。広報紙をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

加治木町太鼓踊り保存会長	大脇 修身
西別府太鼓踊り保存会長	岩崎 京
木田太鼓踊り保存会長	岩下 栄
反土太鼓踊り保存会長	恒森 一美
小山田太鼓踊り保存会長	富秋 辰巳

太鼓踊り

日中踊ってまわりました。

以前は、島津義弘公館前（「仮屋馬場のうっちゃげ」という）の踊りは、通りの石垣の上はみかんが鈴なりになっていたように、いっぱいの人出でしたが、このごろは観客がグンと減少し、踊る人たちもちよつとさみしげです。

吉左右踊りや太鼓踊りなどの郷土芸能の伝承は、保存会のかたがただけでなく、町民のみなさんの温かい御理解、御支援も大事なことです。来年は、そうした温かい心で見守ってください。

郷土芸能の伝承をよろしく。

岩下栄さん一家親子三代 六人が太鼓踊りに参加

岩下栄さん（木田地区）の親子三代六人が参加して、沿道の人たちの拍手を受けていました。



勢ぞろいした岩下栄さん一家



暑くはありません



吉左右踊り

ふれあい体験農業

「めつてもおもしろいわ」

じゃがいもの植え付け

扇園正光さんの畑

「農業について少しでも理解を深めてもらおう」と、扇園正光さんの楠原の畑地で八月二十六日、十五家族が「ふれあい体験農業」に汗を流しました。

この日は、町経済課と農協の職員の指導で、前もって立てられたウネに「じゃがいも」の植え付け作業を体験学習。新村朋美ちゃん（錦江幼稚園）は、かわいい手で穴を掘り、じゃがいものタネイモを大事そうに植えながら「とてもおもしろいわ」と、ままごとのように楽しい表情でした。

十月の収穫が楽しみです。



草とりは大丈夫かな

緒方智博君が韓国大会へ出場

日韓親善少年サッカー大会

鹿児島県と韓国の親善少年サッカー大会が、八月四日～七日に韓国の釜山市で開催され、緒方智博君（錦江小六年）が加治木町から一人出場しました。

緒方智博君は、錦江サッカースポーツ少年団（仮屋蘭正明監督・部員三十人）のキャプテンでチームの要。初めて晴れの舞台・韓国大会へ出場して「将来、加治木町でワールドカップが開かれるよう頑張ります」と話していました。



加治木でワールドカップを

敬老の日★9月15日

生きがいを見つけよう

——人生80年代——



“人生五十年、下天のうちにくらぶれば夢まぼろしの如くなり”と織田信長が合戦の前によく踊ったと言われる敦盛の謡曲。この謡の意味は『人生は世の流れに身を沈め、長く生きても五十年。人の世は儚いもので、五十年経って死を迎える時、これまでの人生は鏡に写る夢まぼろしのようなものである』と解釈できます。

死は皆避けられない前世からの掟である。だから、生ある間は、精一杯生きようと、また、決して死を恐れてはならない。裏返せば



ゲートボールが大好き

「死して名譽をとれ」と、いわれた時代の、言わば自己暗示の役目を果たしたものでしょう。また、戦いに明け暮れた戦国の世で、五十年を戦い生き抜くのは、至難のわざであったと思われまます。その信長も四十八歳、志なかばで荒々しく世を去り、人生五十年代の典型的な人生を終わりました。

時代は流れ、四百十余年を経た平成の今、『人生八十年代』に突入し、未だ、高齢化の波はとどまることを知りません。

戦いの連続の信長時代とは違って、悲惨な戦争のない、衣食住の満ち足りた豊富な現代の余生をどう生きるのか。自分なりの思惑で八十年を生き抜いて行かねばなりません。六十歳の定年を迎え、右往左往しないように自分の『生きがい』をしっかりと心に植付け、来るべき老後に対処したいものです。

張出大関 3東川内為二(九五) 川内

榎田山



男

〈東〉

前頭 小結

横綱 1榎田喜太郎(九六) 楠原

大関 2庄村 常三(九五) 今町

関脇 4中山 敬次(九四) 菖蒲谷

慶祝 九〇歳以上の長寿番付表

平成2年場所 (9月1日現在)

横綱 1高木モヨ(九八) 望岳園

大関 3大園 フデ(九七) 下浜

関脇 4岩下 ヒデ(九七) 竹下

小結 5園田 ヤヘ(九六) 望岳園

前頭 6小間口 モト(九五) 望岳園

前頭

24亀澤 ケサノ(九二) 望岳園

25山下 タカ(九二) 下浜

26福島 サオ(九二) 小陣

27二本 ツルカ(九二) 望岳園

28岩元 ヒデ(九二) 弥勒

29大村 ナホ(九二) 毛上

30松永 めちや(九二) 永原

5榎谷 清(九四) 西塩入上

6安田 富義(九四) 岩原西

7大宮路 重助(九二) 辺川下

8木佐貫 清志(九二) 望岳園

9生駒 重良(九二) 向江町

10竹下 利通(九二) 柳田

11富永 吉(九二) 長谷

12黒田 伊熊(九二) 柳田

13松元 虎吉(九二) 蔵王団地

14澤崎 豊二(九〇) 西ノ原

15外村 政男(九〇) 菖蒲谷

16竹中 嘉一(九〇) 浜村

17城 直衛(九〇) 永原

18中村 乙次郎(九〇) 浜村

19東 松雄(九〇) 永原

20垣内 長吉(九〇) 宮田ヶ平

21横山 兼次郎(九〇) 中央

22柳田 吉次(九〇) 吉原



入浴サービス車



町の温泉へバスで

国が推進している老人福祉の三大柱は、①家庭奉仕員派遣事業、②在宅老人短期保護事業、③在宅老人デイ・サービス事業です。町はこれらの事業を現在実施しており、デイ・サービス事業は、今年一月に開設しましたが、現在百五十人定員いっぱいまで利用したい方は、順番待ちになっている状況です。

このほかに、巡回入浴車による

老人福祉の制度を ご存じですか



デイ・サービス

入浴サービス、緊急時にボタンを押すだけで通報できる電話の緊急通報システム（二十台）、福祉電話（三十台）、紙おむつの支給、ベッドや車イスの貸出しなどを実施しています。

また、社会福祉協議会では毎週水曜日に一回、給食サービスを実施しています。

詳しいことは、福祉課へお問い合わせください。



車イスやつえ

張出横綱 2松下アグリ(九八)小陣

高木山



〈西〉

女

前頭

7	谷口ケサチヨ(九五)	里ノ上
8	小林ツル(九五)	柳田
9	湯田フク(九五)	望岳園
10	久保ヒデ(九五)	望岳園
11	坂元ケサノ(九五)	宮田ケ平
12	恒森クラ(九四)	西反土後
13	大迫イツ(九四)	下浜
14	北薊君(九四)	中福良後
15	杉田テル(九三)	須崎
16	坂元タメ(九三)	宮田ケ平
17	小濱ワカ(九三)	東塩入
18	渋谷シヲミツ(九三)	下東木
19	林ミ子(九三)	萩原
20	四元アキ(九三)	向江町
21	川畑フデ(九二)	浜村
22	大脇ヒデ(九二)	上浜
23	前田キヨ(九二)	毘沙門町

前頭

31	猪目キワ(九二)	徳永
32	向江フイ(九二)	岩原西
33	床村ヨシ(九二)	今町
34	丸野ハル(九二)	端山
35	池ヤエ(九二)	端山
36	田上ワカ(九二)	鞆掛
37	佐藤トモ(九二)	垂ノ口
38	石山サワ子(九二)	端山
39	新名イセ(九二)	今町
40	犬童テル(九二)	里ノ下
41	中村ヲエイ(九二)	提水流
42	川畑トモ(九二)	西塩入下
43	石川ノリ(九二)	布越
44	新トメ(九二)	菖蒲谷
45	有馬ナヲ(九二)	弥勒
46	富永マツ(九二)	長谷
47	西イ子(九二)	端山
48	中江テル(九二)	東諏訪
49	山下イワ(九二)	下新道
50	定栄ムラ(九二)	小陣
51	野田ツルノ(九二)	望岳園
52	増田ユキ(九二)	小田倉
53	汰木ミト(九二)	望岳園
54	越口シヅ(九二)	上浜
55	二月田ケサノ(九二)	望岳園
56	宮永エダ(九二)	下新道
57	樗木イワ(九二)	上嶽
58	上蘭ワサ(九二)	須崎
59	有村ミサ(九二)	中福良後
60	片平シゲミ(九二)	高井田

●身近な話題やニュースは文書係まで (☎62-2111)

Town NEWS

●まちの話題



どうです、きまっていますか

祭りでもらおしを!

「小山田を忘れないで」と、西元地区公民館・西元五月会・布越六三会による『第一回ふるさと祭り』が八月十一日、龍門小学校の校庭で開催され、五百人余りの参加者で賑わいました。

これは、地域の連帯感や活動が薄れゆく今日、地区民が一体となりお互いに手をつなぎ、地域の輪を広げようと開催されたもので、篠崎秋明・西元地区公民館長が「小山田地区の活性化と過疎化のくさびとして、また、若い人たちがふるさと小山田を忘れないように開催しました」とあいさつ。西

元五月会（芝原年男会長・会員三十七名）が二日ばかりでこしらえた大舞台では、開演までの時間、国分自衛隊の音楽隊が昔の懐かしい曲を演奏して、祭りの気分を盛り上げていました。

訪れた地区のみなさんは、次から次へと繰り広げられる舞踊や歌に、時のたつのも忘れて楽しんでいました。

また、校庭に張られたテントでは、西元五月会による焼きイカや金魚すくいなどの夜店が並び、子供たちは「花より団子」ともつぱら夜店めぐりに夢中でした。



小山田を忘れないで



歌声が聞こえてくるみたい

酒よりカラオケが大好き

鹿児島県歌謡資格認定協会加治木支部による第二回発表会が八月十九日、福祉センターで開催され

ました。

この日は、家族や身内の歌を聴こうと訪れた人たちで会場はいっ

鹿児島県

歌謡資格認定協会発表会

ばい。歌う人も熱気にあおられてクーラーもヒートするほどの熱狂ぶり。新中の堀之内仁さんは「酒は飲まないがカラオケは大好き」と、張り切ってマイクを握りしめ歌っていました。

また、上枝一孝さんは大の祭り好きで、祭りには欠かせない加治木の名物男。歌や踊りに合わせて上手に照明を当てていました。

この鹿児島県歌謡資格認定協会加治木支部から「町の福祉に役立ててください」と、御寄付をいただきました。

ありがとうございました。



福祉に役立ててください



山口静男さんと子どもたち

親子のきずなを深めよう

西浦こども会が キャンプを

お父さんお母さんと一緒にキャンプをして、親子のきずなを深め、また、地域の子供たちの親睦を図ろうと西浦こども会（親子四十六人）が八月十七日、竜門小学校の校庭でキャンプをしました。

この夜は、台風の影響であいにくの大雨で、張った七つのテントもびしょぬれ。しかし、子供たちは家庭と違った雰囲気で大満足。有成会長の山口静男さんは「雨の中、みんな良く頑張りました。この体験をこれからの人生に生かしてほしいものです」と、話していました。



フランス語は覚えなくても…

フランス料理はいかがですか

「家庭でできるフランス料理を学ぼう」と、料理学級の「かしの木グループ」の生徒さん二十二名が七月九日、日本料理学校の顧問をしておられる加治木町の瀬戸ルリ子さん（西町出身）を講師に迎えて、福祉センターでフランス料理教室を開催しました。

瀬戸ルリさんは、有名な日本高等料理学院の「江上トミさん」に師事され、現在ではフランス料理の日本の権威者として、広く日本中で活躍されている方です。

この日は、難しい料理とあってかしの木の生徒さんたちも、真剣

瀬戸ルリ子さんを 講師に迎えて

な顔付き。「フランス料理を子供やお父さんに食べさせて、私を見直させてやります」というお母さんもいましたが、ソースの作り方が秘訣とか、家庭でどんな料理ができるか楽しみですね。



きょうのメニューです



私に最初にすわるのは誰かな

「腰掛けてお待ちください」と向江町のバス停留所に、待合用の長イスがお目見えしました。

これは、国際ソロプチミストあいら支部（始良郡内の婦女子のボランティア団体）から町社会福祉協議会に寄贈されたもので、さっそく、向江町の鹿児島方面行きのバス停留所に配置。真新しい「ブルーの長イス」をどうぞ、御利用ください。

昨年結成されたこの団体は、施設の清掃や慰問を行い「少しでも社会のために役立てば」と頑張っています。

腰掛けてお待ちください 国際ソロプチミストあいら支部



カメラ
・ルポ

魚さん川がきれいになったよ

町内一斉河川流域美化運動

“町の川をきれいにしよう”

と八月二十六日、衛生協会理事や子供会育成連絡協議会・自治会連絡協議会・地区公民館連絡協議会など、子供からお年寄りまで町内全域の住民約五千人が参加して、それぞれの流域で美化活動を展開しました。

草刈り機や鎌で河川流域の草や竹やぶなどを刈り取ったものや、流木から空き缶など、収集されたゴミの量は、軽貨物自動車十台、二トン車九台。このほか、各自治会で責任をもって処理していただきました。

この美化活動の実施に伴う今後の課題として、次のことが上げられます。みなさんの御協力をお願いします。

- 一、空き缶を捨てないように。
 - 二、河川流域の生い茂った草むらの除草。
 - 三、環境美化に対する一人一人の自覚。
 - 四、ゴミの減量化。家庭で処理できるゴミは、家庭で処理し、生ゴミは水抜きをして出す。
 - 五、行政と各関係機関団体とのより密接な連携を。
- よろしく願います。



川がきれいになりました



母子寮のロビーで



子どもからお年寄りまで

“見守るが如く”

郵便局前の西郷さん

加治木郵便局の正面に雄々しく“見守るが如く”仁王立ちしている西郷さんの像が、町内の人気を呼んでいます。

これは、夏祭りのみこし用に職員が一カ月で作成した発泡スチロール製のものです。コンテストでは三位に入賞。その後もNHKの“翔ぶが如く”の西郷さんにあやかり、郵便局前に“でん”と立っています。

平八重秀信局長は「まちづくりに局員一丸となって参加し、地域の活性化かに貢献します」と、話していました。



困ったことがあれば“おいどん”に

お兄ちゃんありがとう

母子寮で学習指導を

荒川祐一さん（竹下）と大田和己さん（隼人町）の二人が、町の母子寮で夏休み期間中ボランティアとしてこどもたちの学習指導を行いました。

この二人は、鹿児島経済大学の同級生で大の仲良し。専攻も同じ福祉学科で、この夏実習体験として加治木町の母子寮を選んだもので、寮のこどもたち（中学生二人・小学生六人）は良いお兄さんができて大変喜ん

で、学習にも積極的に参加。パラグアイから帰国して間もない山下富子さん（中三）は「学校の先生より優しく勉強も良くわかります」とニコニコ笑って話していました。

また、小学生のこどもたちは「お兄さん、お兄さん」と、人恋しく語りかけ勉強よりいろいろな話に夢中。きつとお父さんの変わりに話していたのでしうネ。

うわー、カニがいっぱい

『親子磯辺教室』



クイズで説明を

「鹿児島湾をきれいにし、知識を高め明日の世代に引き継ぐ」と県公害規制課による『親子磯辺教室』が八月二十三日、網掛川河口で行われました。

この日は、あいにくの曇り空でしたが、錦江小学校の親子八十人余りが参加。鹿児島湾を子供たちの好きなクイズ形式で説明した後、鴨池マリナーパーク田畑腔腸動物飼育担当官と磯辺のカニについて学習しました。

よく見ると、たくさんのカニが穴から這いだし、さながらカニの大運動会のような様子でした。

おもちゃ図書館を開設

町愛護会

「乳幼児や心身に障害を持った子供たちにおもちゃで遊んでもらい、機能回復に役立てば」と町愛護会による『おもちゃ図書館』の開館式が八月十七日、福祉センターで行われました。

このおもちゃは、町内から寄贈してもらったものや、民生委員婦人部の手作りの珍しい布のネコやニワトリのおもちゃ、絵本など百十九点のおもちゃを、福祉センターで貸出したり、遊

ばせたりするもの。心身の発達を促進すると共に、親同志の交流の場としても活用できます。

おもちゃ図書館は、毎月第三金曜日の午後一時から四時半まで開館。対象者は、乳幼児や心身に障害を持った子供やその家族で、貸し出しは開館日から次の開館日まで。また、家庭で不用になったおもちゃの寄贈を受け付けています。連絡は社会福祉協議会まで。



たのしいおもちゃがいっぱい



カニさんはかわいいネ

もつとよい和牛をめざって

町秋季畜産品評会

町秋季畜産品評会が八月二十八日、辺川の鎮守小学校跡地で開催されました。

この日は、牛馬合わせて四十頭が出場し、それぞれの部門別に採点、講評が行われましたが「発育は中の上ですが、もつとハイレベル（高水準）の和牛をめざして頑張ってください」と、福元岩雄農協組合長理事が講評。表彰の結果、九月に開催される郡の畜産共進会に出品する牛馬が決定しました。▽成績は、次のとおりです。

(敬称略)

◎最優秀賞(個人別)

〔肉用牛一部〕はるひめ号

市野久子(小山田)

〔肉用牛二部〕さちえ2の5号

大山美良(西別府)

〔肉用牛三部〕ふくひめ号

垂水純夫(木田)

〔繁殖群〕なつみ号

久保田行則(西別府)

〔肥育牛の部〕ふみこ2号

上村慶二(小山田)

〔農用雌馬の部〕第2としこ号

大脇久雄(木田)

〔子馬の部〕成神号

大脇久雄(木田)

◎婦人部審査コンクール

▽優勝内村文子・内村ノリ子組

◎大字別成績



肌つやも背丈もいいです



大きな馬です

〔肉用牛の部〕①小山田②辺川
③木田④西別府
〔肉牛の部〕①小山田②木田
③グラウンド・チャンピオン
〔肉用牛の部〕久保田行則
〔肉牛の部〕上村慶二

おもしろいスポーツがいっぱい

第1回レクリエーションのつどい

この日は、役場で新しいスポーツを紹介したり、加治木小学校ではミニバレーボール、グラウンド・ゴルフ、竜門小学校ではグラウンド・ゴルフと、それぞれ分かれて

『生活のリズムの中に、あなたの健康“を見つけましょう”』と九月二日、役場グラウンド・体育館・加治木小学校及び竜門小学校で、三百人余りが参加して、第一回レクリエーションのつどいが開催されました。

この新しいスポーツにチャレンジしたい方は、町体育保健課にありますので御自由に御利用ください。

新しいスポーツは、屋外用のフライングディスク、ダブルソフトラケット、ペタンク、ターゲットバードゴルフ。室内用では、スボレック、レクダンス、ストレッチなどです。体育指導委員の方も「ユニークで、おもしろいスポーツがいっぱい」と、この新しいスポーツにアタックしていました。



ターゲットバードゴルフ



ペタンク



夏ナイター

男子バレーボール大会

優勝は六四会

町バレーボール協会(神村次郎会長)主催の夏季ナイター男子バレーボール大会が八月二十二日から二十八日まで町営体育館で行わ



このボールは受けられない

グラウンド・ゴルフ大会

親子は竜門が優勝

地区対抗グラウンド・ゴルフ大会(一般・親子)が八月十九日、町営運動場で開催され親子や一般の選手が熱戦を繰り広げました。結果は、次のとおりです。



おじさんより上手

れ、六四会が見事優勝の栄冠を獲得しました。
この大会は、九チームが参加して行われ、今回新たに出場した柵城小学校教職員チームが大会を盛り上げ、白熱した決戦が展開されました。
成績は、次のとおりです。
◎優勝六四会 ◎二位中央クラブ ◎三位水無月会
□町バレーボール協会から□十一月初旬に秋季大会を予定していますので、各職場、団体で出場されるようお願いします。

奈良のビールはうんめかった

阿剛洲(アゴーズ)が全国大会へ

阿剛洲(アゴーズ)が八月十七日から二十日奈良市で開催された全日本九人制バレーボールクラブカップ男子選手権大会に出場しました。
これは、実業団と違い混成団体で形成されるチームの大会で、阿剛洲(アゴーズ)は鹿児島県の代表として出場。初日の予選リーグは突破しましたが、二日目の決勝リーグで強豪愛知県チームに措敗しました。それにしても、試合後のビールは「とてもうんめかった」とか。健闘むなしい結果でしたが、ごくろうさまでした。

アゴーズのメンバー

- ◎親子の部
- 優勝竜門 二位城西 三位錦江一
- ◎一般の部
- 優勝城東一 二位城西 三位竜門

竜門句会



彼岸花

日焼鬼のトツと乗り来る海の駅

犬童 麗子

海泳ぐ夢携えて子の一家

古江 重美

つぎ一つあるを承知の夏衣

佐々木かすみ

客去りて虚な端居もてあます

内田美津代

足裏にさくと踏む火山灰秋暑し

白尾 澄子

凌霄花の登りつめたる蛇び住ひ

竹山 洋子

梅千なめて三伏の暑を凌がむと

鶴田 耕

赴任地へ妻子呼び寄せへちま棚

中村チヨ子

初蟬や雨後の狭庭の整はず

神村 洋子

涼しさの通る道あり猫昼寝

高木 正男

赤い月欠けはじめたる大旱

川崎 黒兎

墓洗ひ終えて小さき疲れかな

恒吉 斗南

手花火の消ゆれば庭に闇もどる

加藤 白柳

二さ二つ一ま二狂一句

兼題『親類』（しんじ） 柳 牛尾先生 選

天 町議選 親類面しつ 挨拶ち来つ 原口小鳥

地 警察官 採用後親類を 調査待つ 佐藤蔵王麿

人 披露宴 呆え奴が身内に居れば 最後さ

人 披露宴 好かん奴ども 親類なつ 鮫島四男坊

唱 縁のものじゃれば 仕方あなかる

兼題『素麺』（そめん） 柳 牛尾先生 選

天 生精霊い バケツで準備た 冷ぞめん 小浜礼香

地 そめん腹 ちつと動けば 腹が減つ 原口小鳥

人 器用な嫌 消化が良か過ぎつと じやつかも

人 器用な嫌 素麺ぬ団子い 茹で上げつ 福添秋水

唱 何ゆばさせてん そら上手じやつで

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

暮らしのワンプォイント

やけどは、傷の深さ
によって一度、二度、
三度と分類されます。
例えば、お湯がかかっ
て赤くなって、ヒリヒ
リする程度のやけどは
一度です。

一度でもやけどは痛
いものですが、酸やア
ルカリなどの化学剤以
外のやけどでしたら、お医者さ
んの手をわずらわせることはま
ずありません。

手や足の小さいやけどなら、
洗面器などに氷を入れたるべ
く冷たい水を用意し、その中に

入れて冷やします。ときどき出
しては様子をみて、痛みのとま
るまで繰り返しましょう。
水道の水をかけても結構です
が、直接水があたると痛いもの
です。濡れたタオルを患部にあ

やけどの応急処置

軽い症状は冷やす

てたり、くるんだりするのがポ
イントです。

丸い水泡ができる、俗にいう
「火ぶくれ」は、二度のやけど
です。タバコの火が手についた
り、天ぷら油がはねたりしたや

けどがそうです。これは皮膚の
表面だけでなく、深いところま
で傷が及んでいるのです。
手当ては一度の時と同じで、
まず冷やすことです。水泡は絶
対に破ってはいけません。水泡

ガーゼを傷口にあてて、包帯を
します。
衣類に火がついて燃え上がつ
たり、熱湯の中に落ちたりする
などの大やけどが三度のやけど
です。皮膚がむけ、傷が皮下組
織まで達しています。
この場合は冷やさないで、清
潔なシーツやガーゼで包み、す
ぐ救急車を呼びましょう。



10月の在宅医

※診療時間は、午前9時～午後5時まで
(原則として)

※当日の往診並びに緊急以外の受診は、
御遠慮ください。

日	在宅医	住所	☎
7日	加治木整形外科	港 町	⑥3711
10日	加治木温泉病院	木 田	⑥20001
14日	松 元 医 院	溝辺町	⑤92823
21日	佐 藤 医 院	溝辺町	⑤92607
28日	壱 岐 内 科	諏訪町	⑥22222



「パースントリップ調査に御協力ください」

今秋、十月から十一月にかけて鹿児島市を中心に周辺三町において、交通の実態調査（パースントリップ調査）が行われますので、調査の趣旨をご理解の上、町民の皆様のお協力をお願いします。

『パースントリップ調査』とは、
「どんな人が、どこからどこへ、
何の目的で、どのような交通手段で
移動したか」を調べ、将来の交通
計画を立てる調査です。

これは、建設省と鹿児島県が中
心となり調査を行うもので、鹿児
島市、加治木町、始良町及び吉田
町の居住者の中から、無作為に選
びだされた約二万世帯（約五万二
千人）が調査対象となります。

調査方法は、調査証明書を持
った調査員が、調査対象の家庭を訪
問し、調査票の配布と記入方法を
説明して、後日調査員が再度訪問
し、調査票を回収するものです。
調査員がお伺いしましたら、ご

協力をお願いします。

▽お問い合わせは、県都市計画課
（☎九九二二四一九〇七）
加治木町都市計画課（☎九九五
一六二二二二）鹿児島県パース
ントリップ調査実施本部（☎九九
九二二四一九五五七）へ。

うぶ声



出生児 保護者 自治会
竹下 奈緒 健二 楠園
四元光一郎 信一 里ノ下

〒895-02 川内市
高城町二五二六

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきました。
た。厚くお礼申し上げます。
ますとともに、故人の
ごめい福をお祈りいた
します。（内は故人。）

染川なつみ	雄一	小鳥
米倉 聡明	義孝	蔵王団地
生駒 紗耶	克美	西江口団地
村岡 賢祥	秀男	西江口団地
原口 洋明	洋一	岩原西
三宅由希子	利秋	市来原
福田 倫	博樹	東吉原
川邊 彩香	宏二	赤坂
増丸 幸大	英和	井手向
鶴田 祐樹	実	原ノ門
神園 真紀	隆志	楠園
田中映理佳	陽一	田中
穂森 千里	史郎	上木田
岩元 皓大	啓吾	中福良後

中山 美香	洋一	春日団地
内村 亮	功	西江口団地
内村 昂	功	西江口団地
井上 卓朗	浩一	赤坂
兜島 一馬	金一	吉原
後迫 佳祐	祐二	豊町
東郷 諒真	晃	札立
岩脇 裕樹	勝広	西江口団地
堀越 悠甫	重雄	毘沙門町
堀越 悠希	重雄	毘沙門町
杉木あすか	正行	天神
村山 拓己	光廣	浜村

石野 石野スミエ（夫初男七）
三万円
辺川下 小宮路静哉（母イナハ）
二十一万四千九百九十九円
京都市 川畑博信（母 トモ二〇〇）
稲垣耕三郎
川畑平四郎

特別寄付

『交通遺児、事故防止などに役
立ててください』と、御寄付をい
ただきました。
十万円
岩穴口 福蘭三郎（長男一紀三〇）
▽ありがとうございました。

川内職業訓練短期大学の平成
三年度の学生を募集しています。
■推薦入学制学生
(1) 定員
機械システム系……………若干名
電子・情報システム系…若干名
(2) 資格
平成三年三月高等学校卒
業見込みの者。また、学業成績が
優秀で、本校でも優秀な成績を修
め得るとともに健康で、学校長が
責任をもって推薦できる者。
(3) 願書受付
平成二年十月二十九
日から十一月十二日まで。（必着）
(4) 試験日
平成二年十一月二十二
日……………本校（川内市）で行う。
(5) 試験科目
面接

小テスト（数学Ⅰ）
(6) 受験料等
受験料一四、〇〇〇
円・入学金不用・授業料一八八、
八〇〇円（年額）
(7) 奨学金
育成資金制度あり（月
額二七、七〇〇円）三三、二〇〇
円）
■一般学生
(1) 定員
機械システム系……………50名
電子・情報システム系……………50名
(2) 資格
高等学校を卒業した者（平成三
年三月卒業見込みの者を含む）ま
たは、これと同等以上の学力があ
ると認められる者。

(3) 願書受付
平成三年一月十四日
から二月一日まで。（必着）
(4) 試験日
平成三年二月八日
本校（川内市）で行う。
(5) 試験科目
数学（数学Ⅰ・代数
・幾何・基礎解析）・外国語（英
語Ⅰ・Ⅱ）・面接
(6) 受験料等
受験料一四、〇〇〇
円・入学金不用・授業料一八八、
八〇〇円（年額）
(7) 奨学金
育成資金制度あり
（月額二七、七〇〇円）三三、二
〇〇円）
詳しくは、
川内職業訓練短期大学校学生課へ
☎（〇九九六）二二二二二二

二万円
下浜 福山一間（妻悦六）
三万円
上浜 江口恵子（長男和晃九）
五万円
東誠訪 南 登（姉 静子六）
三万円
上木田 谷口廣己（母キクエ七）
三万円
垂ノ口 寺師ツヤ子（母タ子七）
十万円
中塩入 川畑利夫（母 スミハ三）
三万円
柳田 新福ユリ子（夫 勝六）
三万円



加 治 木 町 民 憲 章

わが加治木町は、教育・文化・経済のうえにかがやかしい歴史をもっています。

わたしたち加治木町民は、この先人の残したうるわしい伝統に新しいいぶきを与え、郷土愛の精神にもえて力強く前進し、より平和な住みよい町をきずくため、ここに町民憲章を定めます。

- 1 わたしたち 加治木町民は、
心を豊かにして平和な町をつくれます。
- 1 わたしたち 加治木町民は、
きまりを守って明るい町をつくれます。
- 1 わたしたち 加治木町民は、
力を合わせて清潔な町をつくれます。
- 1 わたしたち 加治木町民は、
元気で働き豊かな町をつくれます。
- 1 わたしたち 加治木町民は、
楽しい家庭をつくり町の良い子を育てます。